

地域が自立・自律してインターネットを
運用するための実証的な研究 1/2
(プロジェクト番号JGN2-A16056)

研究の概要

地域のISPが既存のインターネット体系にできるだけ依存せずにトラフィックを自律的に制御する技術およびその運用手法の確立を目指す

研究目的

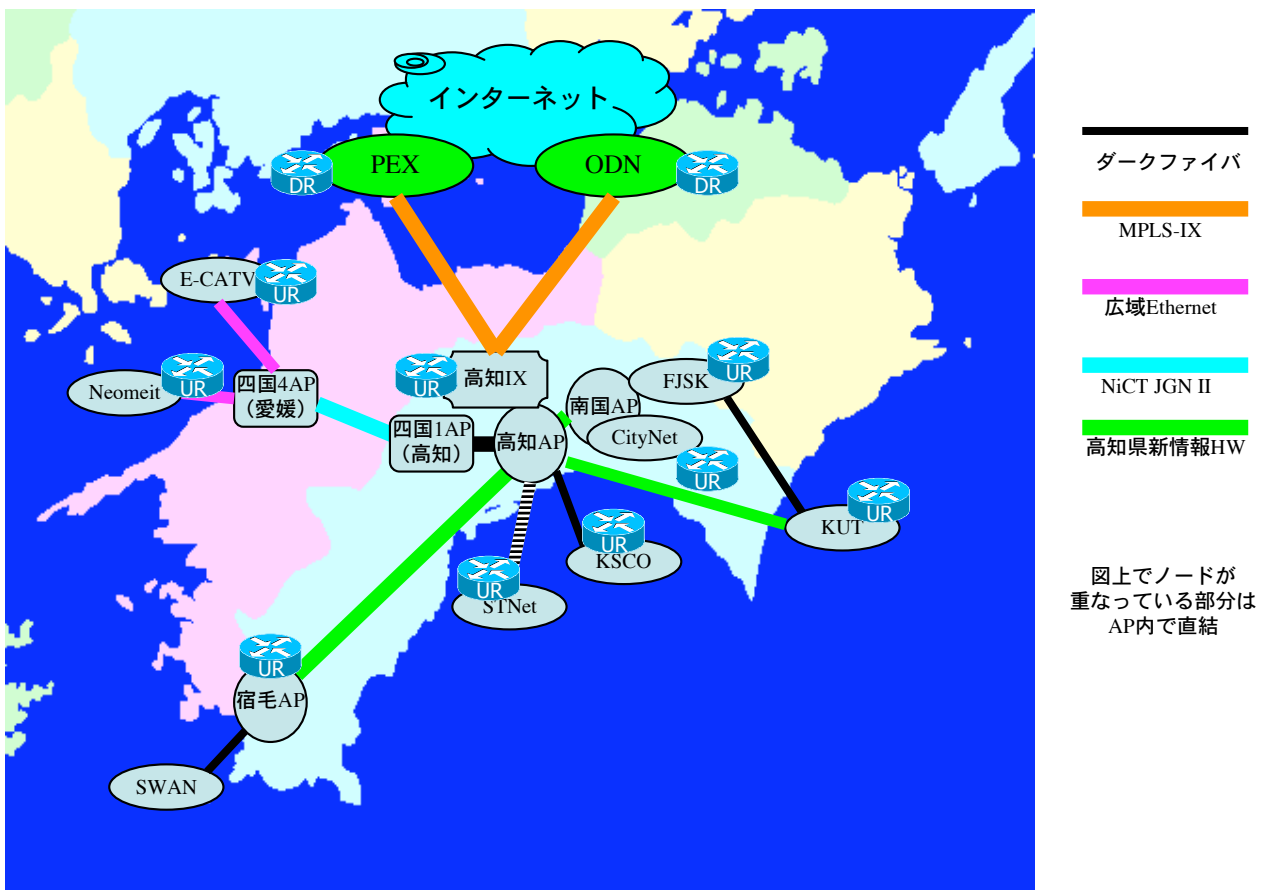
JAIST宇多（共同研究者）提唱の多重経路型マルチホーム手法を応用して、地域において以下を安定的に導入する

- PAアドレスベースでのマルチホーム
- IPv4ベースの運用ネットワークでのIPv6サービス
- マルチホームを利用した高品質・高信頼性映像伝送
- 地域IP網を応用した高信頼な地域情報インフラ

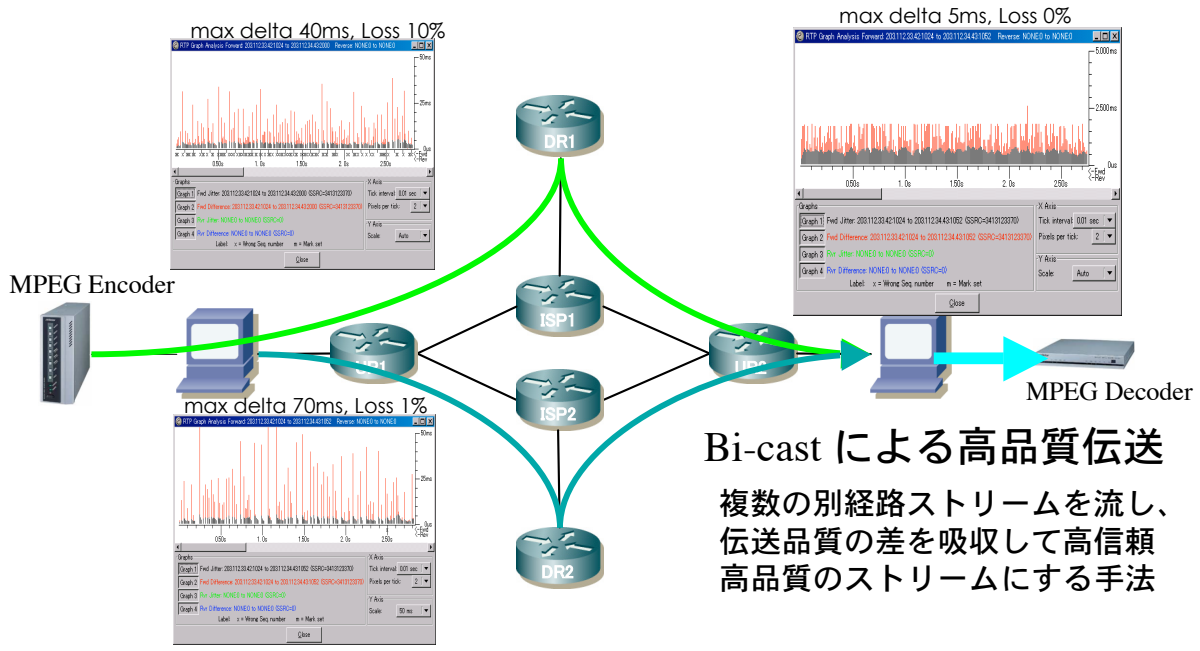
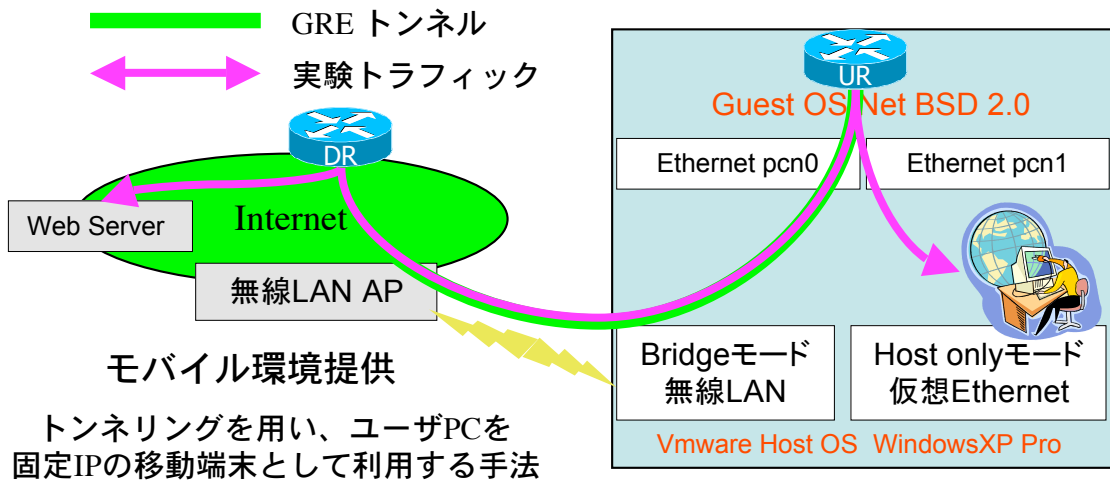
研究機関

STNet
NTTネオメイト四国
愛媛CATV
高知システムズ
シティネット
西南地域ネットワーク
ソフトバンクテレコム
富士通四国システムズ
北陸先端科学技術大学院大学
高知工科大学

実験機器構成



地域が自立・自律してインターネットを
運用するための実証的な研究 2/2
(プロジェクト番号JGN2-A16056)



研究開発状況

研究期間(H16～H18)の最終年度。各テーマごとに研究開発を行い基本的な機能を確認した。

将来の展望

地域に置いては、本研究の目指すような小さなスケールから始められるオーバーレイ手法が重要になるであろう。

今後の予定

全体のまとめを行い、報告書を作成する予定。

謝辞

本研究は、スクウェアエニックス様、フォーサイトウェブ様より御支援を受けています。また本研究は、総務省 SCOPE 地域情報通信技術振興研究開発の委託事業です。